

植物多様性センターの「水草の冬越し」

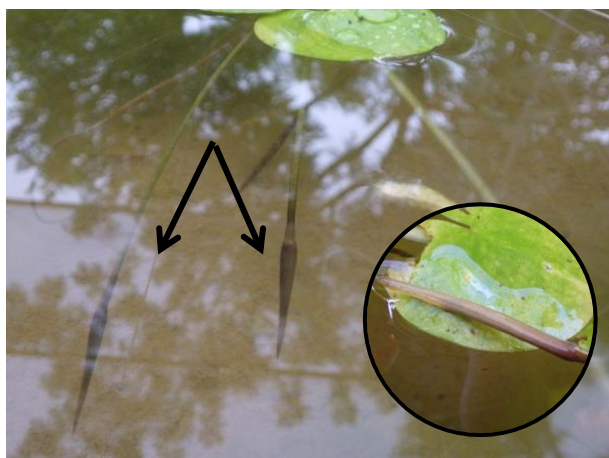
今年の夏に展示が始まった水草水槽で、今、水草の冬越しの準備を観察することができます。普通の植物と同じように水草も花を咲かせて種子をつける有性生殖を行います。大きく異なるのは、無性生殖のための殖芽(しょくが)という器官を水中につけることです。殖芽は種類により形や大きさが異なりますが、植物体の枯れる冬には水底に沈み、暖かくなると芽を伸ばし成長をはじめます。夏とは違う水草の姿をぜひ見にいらせてください。



ガガブタ: 葉柄の下に針の長い暗紫色のウニに似た殖芽がつく



クロモ: 葉腋に茶褐色の紡錘形の小さな殖芽が形成される



トチカガミ: 葉の下から伸びた茎の先に尖った殖芽が形成される



ミズアオイ: 花が終わると花茎が倒れて種子を水中に散布する